

社会福祉法人スマイリング・パーク（宮崎県都城市）

「抱えない介護」を実現！

まずは働く職員が幸せであるように！

課題・背景

- ✓ 人手不足：労働人口減少に加え、外国人技能実習生頼みにできない可能性を懸念
- ✓ 職員の肉体的・精神的負担
- ✓ 職員のデジタル順応性：2007年以降デジタル化へシフトしてきた成果としての基盤

改善（進行中）

- ✓ **介護リフト**を移乗用、浴室等に多数配置し、肉体的負担を軽減（2011年）
- ✓ 特別養護老人ホームに**見守りセンサー**を導入し、夜勤業務の負荷を軽減し最適な人員配置を実現（2016年）
- ✓ バックオフィスには、**RPA**を導入、会議はZoomを連絡は**Chat Work**を活用し、テレワークも可能に。（2021年）
- ✓ 「**ケアカルテ**」導入：利用者の日常記録を音声入力するだけで入力データが請求情報にまで繋がっていくよう全面転換中。見守りセンサー等ともアプリ連携し、データ連携を簡便に。
- ✓ 全職員が**Fitbit（スマートウォッチ）**を身に付け、ストレス値等を計測中。数値化して真実を見ることにより、より働きやすいシフト編成などに生かす予定。（2021年）

主な事業内容：高齢者・障がい者・子育て福祉事業
長時間労働かつ体力的負担の大きい介護現場をIT活用等ユニークな視点で労働環境を整備し、定着率が高く働きやすい職場の実現に向け推進中。第9回「日本で一番大切にしたい会社大賞」実行委員会特別賞受賞（2019年）。

従業員：440名

HP：<https://smilehohoemi.com/>



支援策・支援ツール活用

- 令和3年度全国老協版介護ICT実証モデル施設補助金
- 令和4年度 宮崎県ICT導入支援事業補助金
- IT業者（ケアコネクトジャパン様）によるサポート：職員向け説明会の実施、導入後の保守・改善へのサポート



ICT・DX推進の取り組みについては法人全体で以前より進めており、その成果として職員や利用者、地域の皆様が幸せに生活するための大きな要素になっています。

社会福祉法人スマイリング・パーク 理事長 山田一久氏

成果・嬉しかったこと

肉体的負担を理由にした離職はゼロになり、職員からは、「Fitbitの導入で自分の健康管理をできるようになった」という嬉しい声もありました！



特別養護老人ホームほほえみの園 施設長 吉村陽子氏

今後

職員の心のケア、ハラスメントケアにも力を入れていき、施設利用者が笑顔で安心して快適に過ごせる環境作りを進めます！